



医療法人財団 中山会

# 八王子消化器病院

[www.hachiojisyokaki.com](http://www.hachiojisyokaki.com)



# 医師募集概要

## 2024

RECRUIT  
INFORMATION  
FOR DOCTOR



# 当院の理念

---

## 患者様のための医療

私たちは、患者様に健康な生活を取り戻して頂くため、ここに掲げる理念のもとに心をこめた医療を行います。

## 基本方針

---

### 〔消化器疾患の専門病院として〕

消化器疾患とその関連領域において最新の知識と技術のもとに、高度専門医療機関として地域の中核的役割を果たします。

### 〔地域に密着した病院として〕

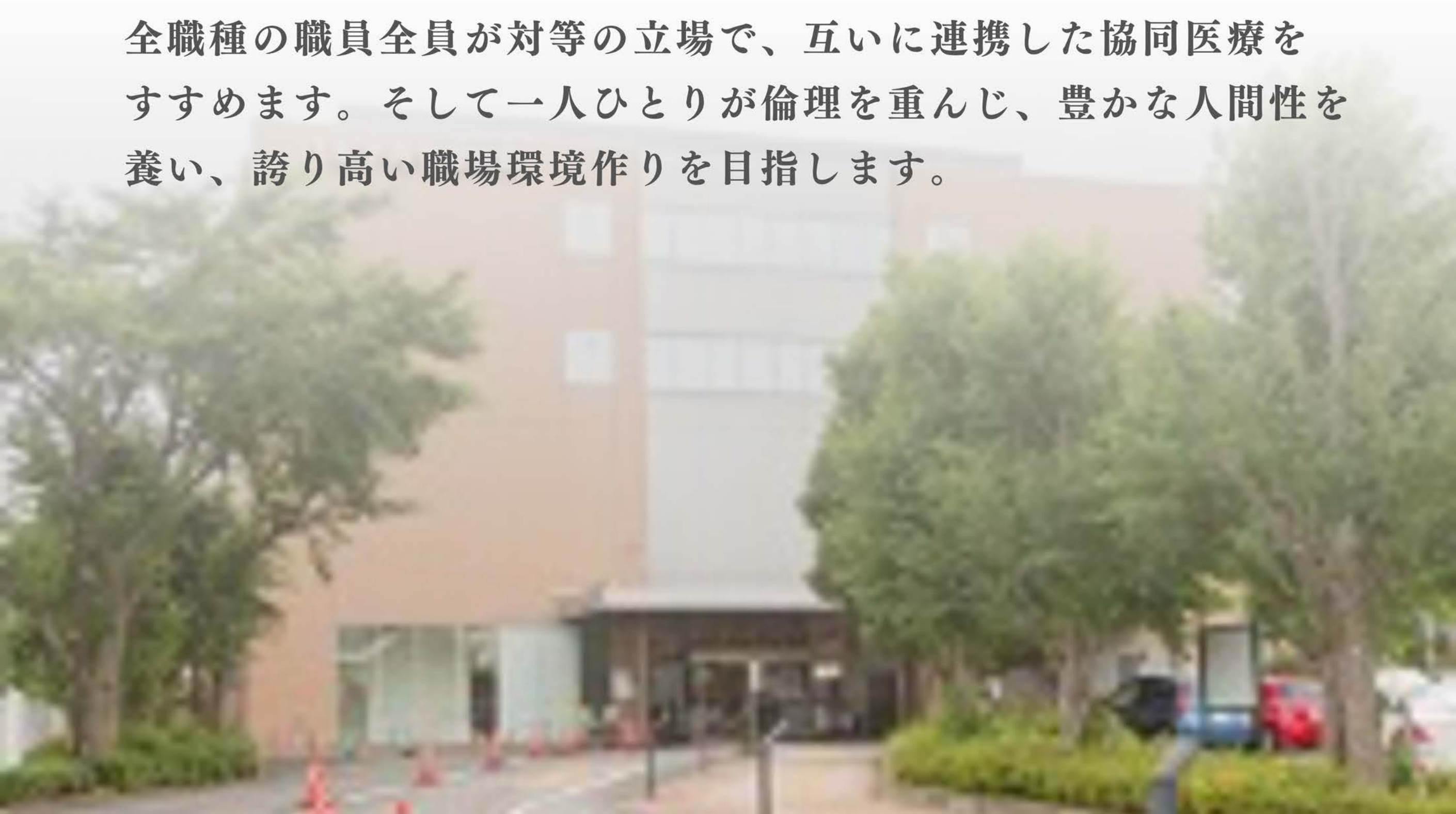
地域の皆様の病気の予防と健康保持のため、健診・保健指導及びセミナー等の医療啓発活動を積極的に行います。さらに地域医療機関等との連携を深め、地域医療体系の一翼を担います。

### 〔安全・安心な医療のために〕

施設、設備面の安全性・快適性を常時点検整備します。  
さらに安全度の高い医療を実現するために全職員に対し研修・教育を行います。

### 〔誇り高い職場環境のもとで〕

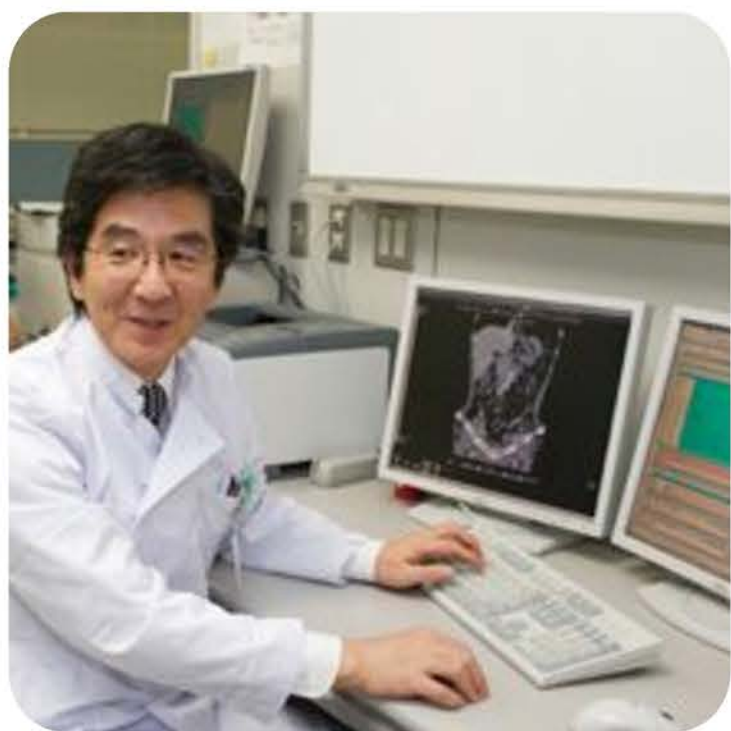
全職種の職員全員が対等の立場で、互いに連携した協同医療をすすめます。そして一人ひとりが倫理を重んじ、豊かな人間性を養い、誇り高い職場環境作りを目指します。





## 質の高い医療の提供と患者の安全追求で常に発展し続ける

1983年、当時消化器外科の世界的権威として海外からも高く評価されていた中山恒明が開設した中山記念胃腸科病院は、1996年に八王子消化器病院と改称し2002年には現在の地に移転新築し今日に至っています。質の高い医療の提供と、患者の安全の追求、アメニティの向上を目指しています。



### 低侵襲性治療・がん医療の最前線

従来であれば外科的手術を必要とした疾患に対して各種の低侵襲性治療を実施、患者の負担を軽減し、的確で安全な治療を行っています。また消化器系のがんに対し、早期発見、手術、化学療法、疼痛管理等、最先端の治療を行える医療水準を目指しています。

### 教育制度の特色

消化器内科・外科専門医の修練施設として位置づけられている当院は、大学医局での専門医の教育訓練を補完するのみならず、病棟管理、医療倫理に至るまで広範な知識を有する専門医の養成に貢献しています。

また全職員に対して、安全な医療の実現のための研修、実務教育等を行っています。



## 診療実績（2023年度）

- 手術** ⇒ **561例**（腹腔鏡下手術390例）
- 内視鏡検査** ⇒ 上部消化管内視鏡検査 6,718件  
下部消化管内視鏡検査 3,912件  
小腸カプセル内視鏡検査 20件
- 内視鏡治療** ⇒ 大腸ポリペクトミー 1,481件  
食道・胃・十二指腸EMR（EMR＝内視鏡的粘膜切除術）19件  
胃ESD（ESD＝内視鏡的粘膜下層剥離術）54件  
大腸ESD（ // ）35件  
ERCP（ERCP＝内視鏡的逆行性胆管膵管造影）131件
- 救急車搬入台数**（かかりつけの患者の受け入れがある場合、月平均数）⇒8台
- 外来患者数**（診療科別の1日平均数、病院全体の1日平均数）  
⇒消化器内科：78人 消化器外科：130人 病院全体：208人
- 入院患者数**（病床別の1日平均数、病院全体の1日平均数）  
⇒消化器内科：9人 消化器外科：64人 病院全体：73人
- 新入院患者数**（病院全体の月平均数）  
⇒370人
- 病床稼働率** ⇒73.9% **平均在院日数** ⇒6.0日



# 理事長インタビュー

## 「患者様のための医療」を掲げ、消化器疾患の専門病院として使命を果たす

### —— 貴院のご紹介をお願いします

八王子消化器病院は1983年、初代理事長中山恒明により医療法人財団聖仁会中山記念胃腸科病院として開設されました。

消化器外科の世界的権威として知られる中山先生は、東京女子医科大学に消化器病センターを設立し、現在の専門医制度を先取りした形の教育カリキュラムであった医療練士制度を創設しました。

私は、東京女子医科大学消化器病センターで外科医として研修を積んだ後、2代目理事長である羽生富士夫先生とのご縁で2002年に当院に赴任しました。

志を同じくする医師が集まって「患者様のための医療を実践しよう」という意欲に溢れ、赴任当初から非常にやりがいのある環境でした。現在は女子医大以外の先生も大勢いますが、当時と変わらない活気ある雰囲気の中で患者のためのチーム医療を実践しています。

### —— どのような特徴がありますか

当院の一番の特徴は、消化器疾患の専門病院であるということです。大学病院に劣らないエキスパートとしての医療を提供しており、時には大学からの依頼で治療を行うこともあります。

消化器に関するあらゆる疾患を真摯に治療する病院としての役割を果たし続けることが、当院の使命です。

病院の使命は時代によって変わるものではありません。医療は日々進歩していかなければなりません。時代の変化に迎合して収益のみを追い求めてはならないのです。医療の原点さえ外さなければ、患者から必要とされ、近隣の先生方からも信頼される病院であり続けることができます。

患者本人はもちろん、近隣の先生方も当院をしっかりと見ておられます。紹介した患者がどのような治療を受け、また紹介元に帰って来た時にどのような言葉で当院のことを伝えられるのか、患者のレスポンスは開業されている先生方が一番よくご存知です。ですから、近隣の先生方からもきちんと信頼される病院でありたいと考えています。

### —— 求める医師像を教えてください

当院の理念である「患者様のための医療」。これをお題目としてではなく、心から本気で思える先生に来ていただきたいですね。

2024年4月からは医師の働き方改革が施行されるなど、医療を取り巻く環境は大きく変わっています。

当院においても改革には積極的に取り組んでいますが、医療は均一な業務ではないため、本気で治さなければいけない患者が目の前にいる場面では、そんなことを言っている暇はありません。医師はただ淡々と24時間、365日働くのではなく、ゆったりしていて良い時とアクセルを踏み込むべき時があります。医師も患者も家族も、全員が必死になって治療に取り組まなければいけない時があるのです。その濃淡のバランスを見極められる人である必要があります。



また私は医療において最も大切なことは、患者の納得であると考えています。人は納得できないものに対しては、たとえ小さな痛みでも受けたくないものです。一方、自分が治るために必要な過程なのだときちんと理解して納得していれば、どんなに大きな試練でも乗り越えていくことができます。高度な技術も大切ですが、患者の納得を得られる医療を何よりも重視しています。

## ——働く環境についてお伺いします

当院は救急診療はありませんので、夜間の緊急搬送などは、かかりつけの患者のみ受け入れています。そのため休みにはしっかりと休むことができます。病床98床、職員170名程の病院で、お互いの顔と名前をスタッフ皆が知っている規模であることも働きやすさに繋がっています。検査や処置の予定が入っていて診察が遅れていると、技師さん達が常にモニターを見て終わりそうな頃に検査の準備を始めてくれたり、医師も検査室の混み具合を見ながら検査日を調整したりと、お互いが配慮をしながら連携しています。

## ——同僚となる先生方は、どのような方々でしょうか

中山先生、羽生先生から引き継いだフットワークの軽さは非常に良いですね。時には勤務が終わって帰宅する頃に急患があり、緊急内視鏡や緊急手術が始まるというようなことがあります。そのような時でも皆ですぐさま取り組めるフットワークの良さです。それが私たちの目指しているところでもあり、「患者様のための医療」の理念が表す姿であります。

## ——最後に先生方へのメッセージをお願いします

当院は、消化器内科・外科専門医の修練施設としても位置づけられており、より高度な技術、広範な知識を有する専門医の養成に貢献しています。初期研修を終えて次のステップとして専門医取得を目指したい先生、消化器のスペシャリストとして研鑽を積みたい先生に相応しい豊富な症例があります。学ぶ意欲に溢れた医師たちが集まってきている病院ですので、やる気と馬力のある若い力を歓迎しています。ぜひお待ちしております。



### 理事長 原田 信比古

東京女子医科大学 消化器外科 元派遣准教授

(経歴)

1985年宮崎医科大学卒業後、  
東京女子医科大学消化器病センター（外科）へ入職。  
2年間のドイツ留学を経て、  
20年にわたり同大学で研鑽を積む。  
2002年より八王子消化器病院勤務。  
病院長を経て2017年4月より現職。





# 病院長インタビュー

## 時代の変化に対応し、地域のニーズに応え続ける

### —— 入職の経緯について教えてください

徳島大学医学部を卒業後、東京の医療を学びたいと考えて当時、消化器においてはがんセンターと比較しても1、2を争う病院であった東京女子医科大学消化器病センターへ大学の先輩を頼って入職しました。八王子消化器病院に初めて来たのは、女子医大の医療練士という6年間の教育カリキュラムを終えた後のことです。関連病院ということもあって2年間こちらに赴任し、一度大学に戻った後に改めて当院に入職しました。

### —— 貴院の特徴は何でしょうか

当院の特徴を一言で表すと「大学の消化器内科・外科の医局をそのまま持ってきたような」消化器に特化した専門病院です。あらゆる消化器疾患に対応できる病院として認知されており、地域のニーズに応え続けることで長年に渡り地域の皆様の支持を得てきました。

東京郊外に位置する八王子ですが、アクセスの利便が良いため都内のがんセンターやがん研有明病院といった特定機能病院にも通うことが可能なエリアです。医療だけを考えるのならば、そうした病院に通うことも選択肢のひとつかもしれません。しかし、その後の生活や災害時などの様々な状況を考えると、それぞれの地域の病院がしっかりと地域医療を完結させられる体制を構築しなければならないと考えています。

例えば地震などの災害時には、日本全国に病院があっても助けられるのは、やはりその地域の病院だけです。物品などは外部から届いても、実際に稼働するのはその地域の人達なのです。どんな時も地域の健康を守り続けるためには地域内で医療が提供できる必要性があります。

また病院は基本的には都心部に多くありますが、病気の発生は地方であってもどの地域でも起きるものです。人口比率上、数の違いはありますが都会にも地方にも病気はあります。ですから私たちは、この地域の消化器疾患をこの地域で完結できるよう機能しなければいけません。そして大学病院や救急病院といった最後の砦となる病院の負担を減らせるように、地域医療を担っていきたいと思います。

そのためには時代の変化に対応し、役割を果たし続けられるよう努めていかなければいけません。高度化、複雑化する医療への対応や、2024年4月からの医師の働き方改革の施行など、現在は非常に難しい時代を迎えています。建物としての病院は変わらなくても、医療をアップデートしながら、人材もアップデートし、時代の変化に追いついて求められる医療を提供していく努力が常に必要であると感じています。

### —— どのような先生にお越しいただきたいですか

転職を考えておられる先生には、ご自身のキャリアだけではなく家族のことや周囲の環境、人間関係などそれぞれの転職理由があると思います。将来像はまだ見えないけれど、今の場所はどうも違うなと感じている先生もいるでしょう。

とにかく当院で働きたい、学びたいという先生はもちろん歓迎しますが、ずっと働くかは分からないけれど環境を変えたい、働き方を変えたいという理由で来られるのも良いと思っています。最初から八王子に永住しようとか、この病院ですずっと働こうという思いを持つ必要はありません。それは働いていく中で、環境や縁が積み重なった先に生まれる思いだと考えています。



「先々のことは分からないけれど、3年間だけ頑張ってみたい」などでも構いません。当院は消化器外科の認定施設ですので、外科専門医資格をお持ちでしたら3年間で症例を集め論文を書いて消化器外科の専門医を取得することができます。それくらいの熱意と意欲を持った方に来ていただけたらいいですね。

お伝えしておきたいのは、ゆっくりしたいという思いがあるのであれば当院はミスマッチであるということです。救急病院ではありませんが、日中は集中して密度濃く対応しています。急性期疾患と慢性期疾患に同時に対応しており慌ただしいところがありますので、患者とよくお話ししながらじっくり向き合って診療したいという方には合わないでしょう。

## ——働く環境について教えてください

他の病院と比べても内視鏡や手術の件数は多いですね。単科ということもあって中・高難度の手術は、同規模の総合病院の消化器外科よりも多くの症例があります。消化器の専門性を高めたいのであれば、大変魅力的な環境です。同僚となる先生方も、ハードな環境ですが皆とても真面目に医療に向き合っています。向上心の高い先生方で、教育についても皆、積極的に教えてくれます。消化器に特化していることが強みですが、一方で他の疾患がある場合のフォローが課題であります。しかしながら全てを当院で補う必要はありませんので、対応が難しい場合は医療連携によって適切な病院に紹介する判断をしています。

## ——先生方へのメッセージをお願いします

転職の決断は、考えて答えが出るようなものではありませんので、転職しようと思ったのなら一歩を踏み出すことです。当院だけではなく、いくつかの病院を見られると良いでしょう。今は医局派遣が主流だった時代とは異なり、初期研修先から自ら選ぶ時代です。求められる医師の生き方も変わってきています。私たちはその流れの中、お越しいただける先生を柔軟に受け入れる風土を整えてお待ちしております。



### 病院長 小池 伸定

東京女子医科大学 消化器外科 非常勤講師

（経歴）

1994年徳島大学医学部を卒業後、  
東京女子医科大学消化器病センターにて研鑽を積む。  
八王子消化器病院で2年間勤務した後、  
アメリカの大学病院に留学。  
帰国後、八王子消化器病院に戻り、  
副院長を経て2017年4月より現職。



# 事務長インタビュー

## 魅力は、消化器疾患に特化した質の高い医療と働きやすい組織風土

### —— 八王子地域について教えてください

八王子市は人口58万人を抱える東京都唯一の中核市です。JR中央線、JR横浜線、京王線などが通る交通の要所でもあり、新宿までは中央線特別快速を利用し30分程度で行くことができます。住環境としては市内で何でも揃うまとまりがありながら、高尾山などの自然も美しい地域です。都心と比べて物価が安いことも魅力ですね。

これだけの大きな市ですので、当院の患者層においても9割が八王子市の方となっています。人同士の結びつきが強い地域で、「家族みんなでお世話になっています」「お父さんがお世話になったから、私もお願いします」というような方が沢山いらっしゃいます。患者の皆様との距離が近い、このアットホームな雰囲気も、地域性であり都心の病院と異なる点ではないかと思います。

### —— 貴院の特徴は何でしょうか

当院は全国的にも珍しい98床の病床を持つ消化器の単科病院です。消化器疾患に特化した質の高い医療を提供しており、マスコミが実施する医療機関ランキングなどの特集でも名だたる病院と並んで取り上げられるなど特徴的な位置付けです。

私たちの使命は今後も地域の患者の皆様や近隣医療機関の先生方に信頼され、「八王子でお腹が痛くなったら八王子消化器病院」と言われる病院であり続けることです。先に理事長からも申し上げたように、事業を拡大しようとか都心に進出しようといった考えはありません。この地域の中で、消化器疾患に関しての絶対的な信頼を得たいというのが共通の思いです。

そのためには、世代間での知識や技術の継承が必要になってきます。現在、消化器内科・外科を問わず消化器に特化した質の高い知識・技術の習得を目指して臨床経験を積みたい先生を募集しています。

### —— どのような働く環境や制度がありますか

設備に関してはCT装置が2台、内視鏡は4列稼働しており、この規模の病院としては充実した設備環境を整えています。

学会、研究発表、研修会などの参加については、交通費や宿泊費も含めて費用の大部分を病院で負担しています。学会は出張扱いですので、お休みを取っていただく必要もありません。

休日については、毎月2日の有給休暇を赴任月から付与しています。100%消化できており、固定休みではない分フレキシブルに休めるのが良い点です。

当直は宿日直許可を取得しています。救急病院ではなく救急搬送は、かかりつけ患者のみの対応のため、日中を含めても月に10件程度の搬送です。そのため、オンコール体制を取っていますが夜間の呼び出しは年に1度あるかどうかといった状況となっています。



## —— 理事長先生、病院長先生はどのようなお人柄ですか

私が申し上げることではないかもしれませんが、理事長、病院長に共通しているのは診療に対して非常に誠実な方だということです。本当に真面目に真摯に取り組んでおり、その思慮の深さにはいつも感嘆の念を覚えています。

ある手術が必要なご高齢の方のことです。手術をするとおそらく術後は介護が必要になるだろうという方でした。そのような時には家族の想いや、術後の介護や在宅診療が必要になった際の支援状況を確認します。そして、患者本人も家族も納得して、治療後の将来の見通しを立てた上で初めて手術に臨みます。通常であればこの疾患にはこの治療しかない、と考えて手術を実施します。病気のことだけを考えてしまいがちですが、実際の治療はその後の生活なども踏まえて初めて成り立つものです。医療を医療行為として見るだけではなく、家族も含めて生活者としての視点までを視野に入れて医療を選択する姿は非常に誠実であると感じます。そのため「家族みんなで見てもらいたい」という方が多いのでしょう。「原田先生がいい」「小池先生がいい」というお声を沢山いただいています。

私たち職員に対しても誠実に、さまざまな対応においてきちんと意見を聞いた上で判断をします。トップのその真摯な姿が、当院の組織風土にも繋がっていると感じています。

## —— 先生方へのメッセージをお願いします

元々は東京女子医科大学消化器病センターの関連病院として開設された当院ですが、現在は様々な医局の先生が在籍しています。出身大学に関わらず、全員で「八王子地域の消化器病センター」という当院の位置づけを支え、今後さらに盛り上げていくために尽力しています。

病床98床、職員170名という規模感ですので職員間の距離が近く、非常に働きやすい環境です。チーム医療という言葉ができる前からチーム医療を行ってきた病院ですので、医師とスタッフ間も非常によく意思疎通を図っており、診療におけるコミュニケーションストレスがありません。求人票からは見えない部分ですが、自信を持ってお伝えできるところです。

この働きやすい職場で、ぜひ先生のお力を発揮していただきたいと思います。





# 募集要項

**消化器内科、消化器外科として活躍をされたい方、  
更にスキルアップを図りたい方には最適な施設！  
専門医も取得可能！！**

救急指定ではないため(かかりつけ患者は受け入れあり)、  
緊急呼び出しも少なく、日中に集中して勤務する事が可能です！

- **消化器内科医師 募集(2名)**
- **消化器外科医師 募集(1名)**

## 消化器内科医師 募集(2名)

**対 象 年 齢**：50代前半迄

**求める医師像**：消化器内科医として活躍されたい方、  
更にスキルアップを図りたい方、  
時短勤務希望の方も相談可能です！

(週4日/9～16時※応相談/外来対応のみ ※病棟管理/宿日当直/オンコールなし)

**勤 務 開 始**：随時可能

**募 集 背 景**：欠員補充、体制強化

**勤 務 内 容**：日勤帯：外来4コマ程度(30～40名程度)  
病棟管理(主治医3名程度)  
内視鏡検査、治療

**当直帯**：病棟管理主体

かかりつけ患者の救急対応が発生する場合あり



## 消化器外科医師 募集(1名)

**対 象 年 齢**：50代前半迄

**求める医師像**：消化器外科医として活躍されたい方、  
更にスキルアップを図りたい方

**勤 務 開 始**：随時可能

**募 集 背 景**：欠員補充、体制強化

**勤 務 内 容**：日勤帯：外来3コマ程度(25名程度)  
病棟管理(主治医7名程度)  
内視鏡検査  
手術(腹腔鏡下、開腹)

**当直帯**：病棟管理主体

かかりつけ患者の救急対応が発生する場合あり





## 条件面の詳細

**勤務日数**：週4日～検討可能

※週5日勤務のみ・土曜休み要相談

※短時間勤務や当直免除も可能です（子育て中の女性医師等のフルタイム勤務が難しい場合）

※開業等までの期間限定勤務も可能です。

**勤務時間**：平日：08:00～17:00 土曜日：08:00～13:30（午前のみ）

**休憩時間**：60分

**当直回数**：週1回程度

**当直体制**：当直（医師1名体制）

**基本給与** 週4日勤務の場合：1,450万円(15年目)～1,600万円(20年目)※ 時間外勤務手当別途支給

週5日勤務の場合：1,800万円(15年目)～2,000万円(20年目)※ 時間外勤務手当別途支給

※経験・実績に応じて相談可能

※上記、年当直40回(4万円)、日曜・祝日の日直6回(6万円)、住宅手当月10万円含

**当直手当**：年俸込み

**オンコール**：あり（呼び出し勤務ほぼなし）

**賞与**：年俸に含む

**昇給**：あり(年次によって昇給)

**育児支援**：提携保育園あり(紹介可能)

**資格補助**：資格取得時および専門医更新の際、費用補助あり  
（施設認定に関係するものに限る）

## 福利厚生・支援制度（全科共通）

**契約期間**：1年毎更新制

**休日**：土曜日午後、日曜日、祝日

**休暇**：有給休暇(毎月2日付与)

※週5日勤務の場合、長期休暇制度(7日間付与、毎年4月～3月の間に取得)、  
年末年始休暇(12/30～1/4)

**定年制度**：60歳（再雇用制度の有無：有）

**退職金**：あり(5年以上勤務継続の方のみ対象)

**各種保険**：社会保険完備、病院賠償責任保険加入

**赴任手当**：上限20万円まで支給

**住宅手当**：月10万円(年俸に含む)

**通勤手当**：公共交通機関⇒定期代支給、  
自家用車⇒公共交通機関利用計算で支給  
駐車場利用可能(10,000円～13,000円／月額)

**扶養手当**：なし

**時間外手当**：実績に応じて支給(要申請)、みなし残業手当なし

**学会参加**：参加の場合

⇒宿泊費・交通費一部支給、参加費なし(回数上限なし)

**発表の場合**

⇒所属施設名が当院の場合は宿泊費・交通費全額支給、  
参加費なし(回数上限なし)



# 地域について

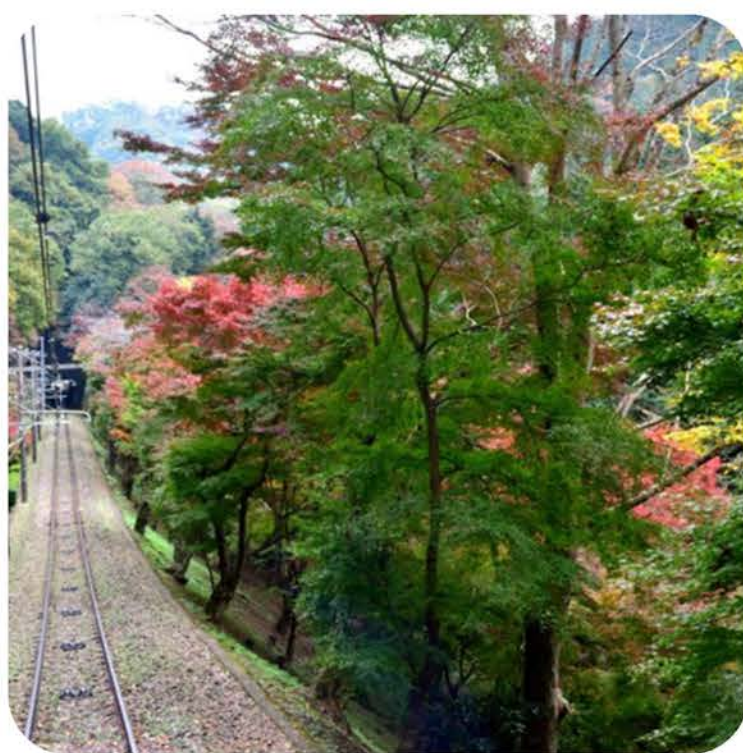
## 自然と都市が調和した魅力的なエリア

東京都内に位置する八王子市は、都心からやや離れた場所にありながら、自然と都市の両方を楽しめる魅力的なエリアです。さらに都心へのアクセスの良さや生活施設、文化教育施設の充実・・・と住みやすさや観光地としての魅力もあります。



### 薬王院 有喜寺

薬王院と参道のスギ並木は  
八王子八十八景に選出



### 高尾山

修験道の霊山としても有名な  
標高599メートルの山



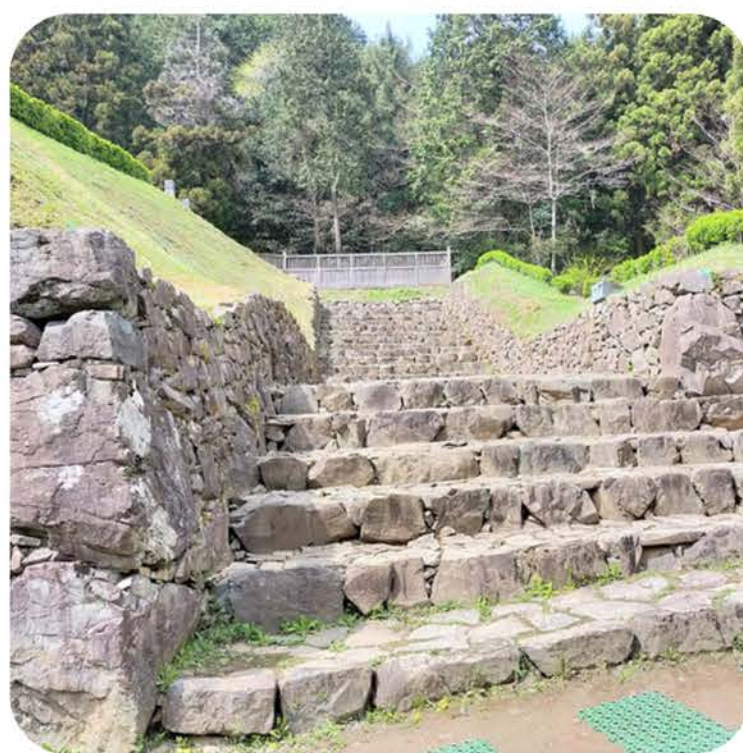
### 高尾山トリックアート美術館

目の錯覚を利用したトリック  
アートで人気の撮影スポット



### 昭和天皇武蔵野陵

八王子八十八景のひとつ



### 八王子城跡

関東屈指の山城



### 八王子市こども科学館

「科学する心」を育てる施設





# 子育てがしやすい

## 市をあげて子育て支援実施中！

東京都八王子市は、人口が約58万人で、都の市部では人口・面積がともにトップクラスの街です。移住人口も多いため、子育て世代のサポートには市をあげて強化をしています。手当や助成制度などの経済的支援も幅広く行っています。また、子育て相談や子供の居場所確保（親子つどいの広場やショートステイ(宿泊型一時保育)、トワイライトステイ(夜間一時保育)なども充実させています。



子育てに関する相談ができる場所も数多く用意されているので、一人で抱え込むことなく周りからのサポートを受けやすい環境づくりができています。



東京都立南多摩中等教育学校



明治大学附属中野八王子中学校



帝京大学中学校

# 春夏秋冬イベント充実！

八王子は自然や歴史的背景も多く、地元のお祭りやイベントがとにかく充実しています。飽きることはないでしょう。フレンドリーな地元の人と楽しめること間違いありません。





# 概要・アクセス

## 施設概要

- 施設名**：医療法人財団中山会 八王子消化器病院
- 住所**：〒192-0903 東京都八王子市万町1-7-3
- 開設日**：1983年5月17日
- 理事長**：原田 信比古（消化器外科／東京女子医科大学／65歳）
- 病院長**：小池 伸定（消化器外科／東京女子医科大学／56歳）
- 救急指定**：救急告示なし
- 病床種別**：98床（一般病床98床）
- 診療日**：平日9時00分～17時00分 土曜9時00分～13時30分
- 休診日**：土曜日午後、日曜日、祝日
- 手術日**：火曜日終日、水曜日午後、金曜日終日
- 宿日直許可**：取得済
- 宿直 時間帯：平日・日曜日・祝日/17:00～8:00  
土曜日13:30～8:00
- 日直 時間帯：8:00～17:00
- 診療科目**：消化器内科・消化器外科・内視鏡内科・内視鏡外科・糖尿病内科・リウマチ科・麻酔科
- アクセス**：JR「八王子駅」南口から徒歩約13分、  
京王線「京王片倉駅」から徒歩約10分
- 施設HP**：<http://www.hachiojisyokaki.com/>
- カルテ**：電子カルテ(メーカー：BML)
- 設備**：CT診断装置2台、内視鏡4列(メーカー：オリンパス3列、富士フィルム1列)
- 認定施設**：日本外科学会外科専門医制度関連施設  
日本消化器外科学会専門医修練施設  
日本消化器病学会認定施設  
日本消化器内視鏡学会指導施設  
日本胆道学会指導施設  
日本膵臓学会認定指導施設  
日本消化管学会胃腸科指導施設  
日本大腸肛門病学会関連施設  
日本がん治療認定医機構認定研修施設  
日本カプセル内視鏡学会指導施設  
一般社団法人National Clinical Database施設  
日本消化器内視鏡学会JED Project参加施設



# アクセス



※JR新宿駅～JR八王子駅：約44分  
※JR横浜駅～JR八王子駅：約58分  
※京王新宿駅～京王片倉駅：約44分

- JR八王子駅南口より徒歩約13分
- 京王片倉駅より徒歩約10分
- 京王バス 万町1丁目バス停徒歩2分
- 神奈川中央交通バス 万町2丁目バス停徒歩1分
- 職員専用駐車場(10,000円～13,000円／月額)







医療法人財団 中山会

八王子消化器病院

Rakusai RPO担当者

江上・諏訪・浅井

Email : [rpo@mstage-corp.jp](mailto:rpo@mstage-corp.jp)

Mobile : 080-7034-3397 (諏訪)

080-4833-9613 (浅井)